

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立島田工業高等学校

目 次

事務事業の概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
事務執行の根拠法令調	・ ・ ・ ・ ・ 16
学校施設の概要	・ ・ ・ ・ ・ 17
在籍生徒調	・ ・ ・ ・ ・ 19
入学志願者及び入学者数調	・ ・ ・ ・ ・ 21
卒業生の動向調	・ ・ ・ ・ ・ 22
生徒の状況	・ ・ ・ ・ ・ 25
授業料収納状況調	・ ・ ・ ・ ・ 26
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	・ ・ ・ ・ ・ 30
預金調	・ ・ ・ ・ ・ 31
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	・ ・ ・ ・ ・ 32
委託料に関する調	・ ・ ・ ・ ・ 34
負担金支出調	・ ・ ・ ・ ・ 37
建築工事調	・ ・ ・ ・ ・ 41
公有財産調	・ ・ ・ ・ ・ 43
借地借家等調	・ ・ ・ ・ ・ 44
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	・ ・ ・ ・ ・ 45
行政財産貸付・使用許可調	・ ・ ・ ・ ・ 46
普通財産・借受財産等貸付調	・ ・ ・ ・ ・ 48
職員公舎管理状況調	・ ・ ・ ・ ・ 49
主要備品調	・ ・ ・ ・ ・ 50
職員調	・ ・ ・ ・ ・ 51
職員の年齢調	・ ・ ・ ・ ・ 54
健康管理	・ ・ ・ ・ ・ 55

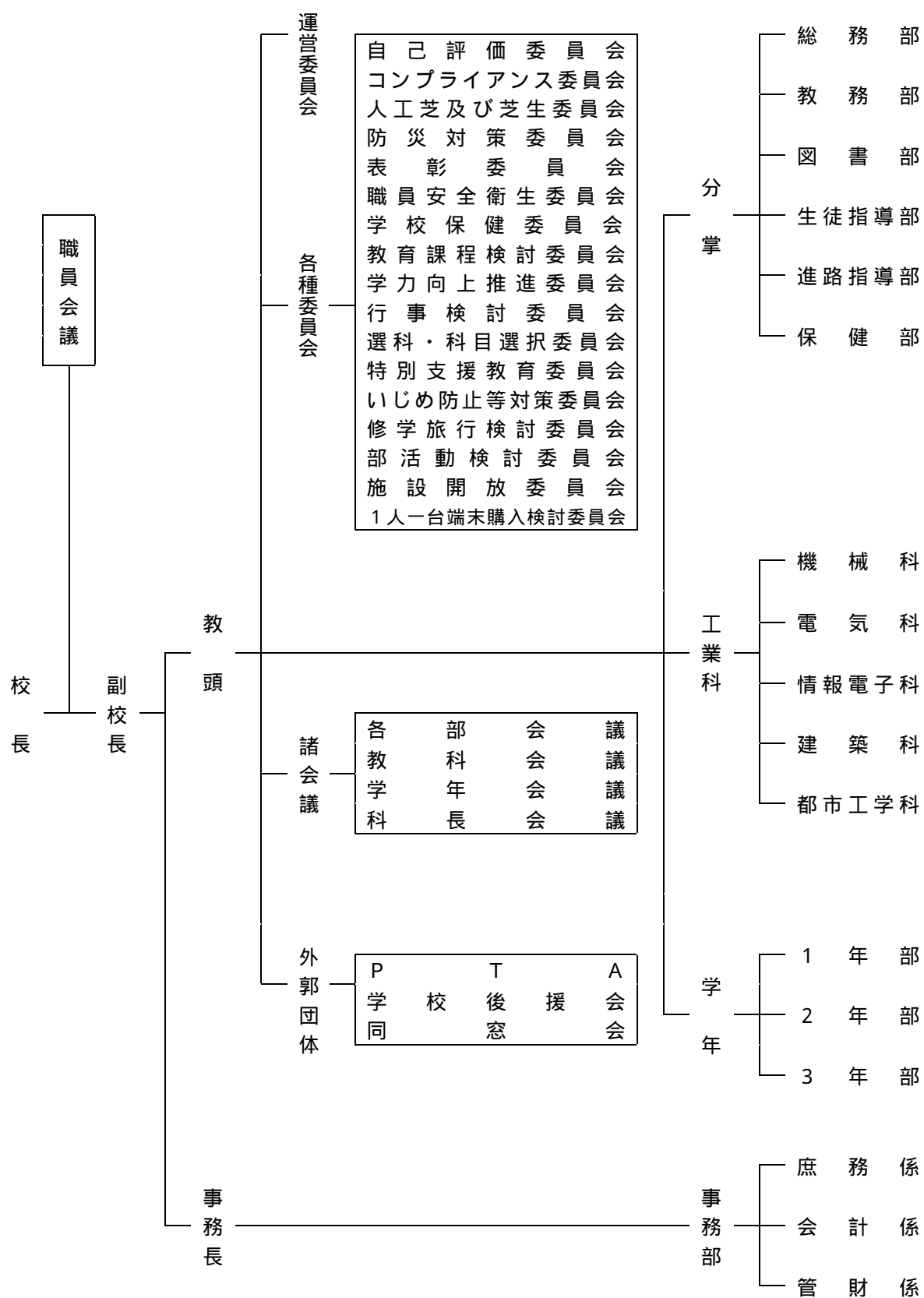
事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

昭和37年 3月19日	県総合計画と地域の強い要望に基づき静岡県議会において静岡県立島田工業高等学校の設置並びに同校第1期工事予算が議決された。
昭和37年 4月 1日	静岡県立島田工業高等学校設立準備委員が任命され設立準備委員会仮事務所が島田商業高等学校内に設置された。
昭和38年 3月25日	第1期工事（第1棟）竣工
昭和38年 4月 1日	静岡県立島田工業高等学校設置、全日制課程工業に関する3科が設置された。 機械科・電気科・建設科（建築コース・土木コース）
昭和39年 3月28日	第2期工事（第2棟及び第1実習棟）竣工
昭和40年 3月31日	第3期工事（第3棟）竣工
昭和40年 5月18日	第3期工事（第4棟）竣工
昭和40年 8月19日	プール竣工（50m×8コース）
昭和40年 9月 4日	体育館兼講堂竣工
昭和40年10月21日	格技場（現卓球場）竣工
昭和42年 4月 1日	建設科を廃止し、土木科・建築科の2科を新設
昭和43年 3月25日	実習棟増築工事竣工（第3実習棟）
昭和48年 3月30日	校地拡張（1,757㎡）
昭和57年 6月30日	格技場（武道場）竣工
昭和59年 3月13日	生活館竣工
昭和61年10月23日	第1棟耐震補強工事完成
昭和63年 3月25日	電子機械科棟（第2実習棟）竣工
昭和63年 4月 1日	電子機械科設置（機械科2、電子機械科1、電気科3、建築科1、土木科1）
平成 2年 4月 1日	電気科に電気系、電子情報系の2コースを設置
平成 4年 4月 1日	情報技術科設置（機械科2、電子機械科1、電気科2、情報技術科1、建築科1、土木科1）
平成 5年 3月18日	情報技術科・家庭科棟（第4実習棟）竣工
平成 8年 4月 1日	電気科1学級減（機械科2、電子機械科1、電気科1、情報技術科1、建築科1、土木科1）
平成 8年10月 9日	県議会において校舎改築を議決
平成10年 4月 1日	くくり・類系制スタート、機械科1学級減 募集定員240人、土木科が都市工学科に学科改編 工業 類（機械科1、電子機械科1、電気科1、情報技術科1） 工業 類（建築科1、都市工学科1）
平成11年11月30日	新校舎（南棟及び北棟）竣工
平成13年 3月15日	部室竣工
平成13年 3月26日	電子機械科棟・情報技術科棟曳き移転工事竣工、グラウンド等整備工事竣工
平成17年 1月31日	体育館耐震補強工事竣工
平成19年 3月20日	プール改修工事竣工
平成19年11月15日	グラウンド人工芝竣工
平成24年 1月30日	格技場（卓球場）耐震補強工事竣工
平成24年11月 9日	創立50周年記念式典挙行
平成31年 4月 1日	電子機械科と情報技術科を情報電子科に改編 1学級減 募集定員200人

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) スクール・ミッション

静岡県中部志太榛原地区の工業高校として、校訓「璞磨～誠実・叡智・創造～」のもと、人間力の構築と共に、地域産業界との連携を通して確かな学力を習得することで、地域の発展に寄与し、時代の変化に柔軟に対応できる職業人材の育成を目指す。

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
校訓である「璞磨～誠実・叡智・創造～」のもとに、以下の人材育成をめざします。 誠実で礼儀正しく、互いの良さを生かして協働できる人を育てます。 社会の様々な場面で知識や技能を関連付けて活用できる力を育てます。 気づき、考え、行動し、地域の産業社会の担い手となる人を育てます。 コミュニケーション能力やICT機器の活用力を身に付け、失敗を恐れず問題に挑戦することができる技術者を育てます。	人間力を磨くため、HR活動や生徒会活動等の特別活動、部活動、挨拶や清掃、地域との交流活動等に力を入れて取り組みます。 自ら学ぶ姿勢を培うため、「課題研究」をはじめ、多くの科目で探究的な学習を行います。また、複数班に分かれての実習、進路希望に応じた選択科目設置などの個に応じた指導や、生徒同士の協働的な学びを推進します。 工業人としての基本姿勢を身につけるため、5SやKY（注）を徹底して実習を行います。また、生徒の社会性をはぐくむため、地域や産業界と連携した教育活動を実施します。 工業の専門的業務に必要な資格の取得など、学びを深めたいと考える生徒の希望に応える指導を行います。	基本的な生活習慣が身に付いており、部活動、生徒会活動、地域における活動に積極的に参加し、よりよい学校生活を送ろうとする意欲のある生徒を求めます。 他の人と協力して新しいことに挑戦する意欲のある生徒を求めます。 自己の進路実現のために、日々の学習に前向きに取り組む生徒を求めます。 ものづくりやものの仕組みに強い関心を持ち、工業の分野で社会に貢献したいという気持ちがある人を求めます。 注 5S…整理・整頓・清掃・清潔・躰 KY…危険予知

(3) スクール・ポリシー具現化の柱（○番号は、カリキュラム・ポリシーの項目を表す）

- ア 基本的な生活習慣の確立、規範意識や社会性の育成を通して、人間力の基礎を築く。（○）
- イ 生徒を主体とした教育活動を推進する。（○）
- ウ 授業改善と学習習慣の定着に重点を置き、生徒の基礎学力の定着を図るとともに、知識や技能を活用する力や思考力を育成する。（○）
- エ 計画的なキャリア教育と個に応じた進路指導の両面から、生徒の進路実現を支援する。（○）
- オ 将来の工業技術者として必要な基本的な知識や技術、安全意識を身に付けさせるとともに、資格取得や工業系各種大会への挑戦を促し、目標実現に向け努力する姿勢を培う。（○）
- カ 積極的な情報発信や、地域や産業界と連携した教育活動を推進し、地域に信頼される学校づくりを推進する。（○）
- キ 生徒が安心・安全に授業や諸活動に取り組める環境を整えられるよう、教職員の資質向上に努める。
- ク 組織的な業務改善を推進し、生徒に向き合う時間の確保、教職員の心身の健康保持に努める。
- ケ 公費の適正かつ効果的な執行に努め、生徒の学習環境を充実させる。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的生活習慣の確立、規範意識や社会性の育成を通して、人間力の基礎を築く。	「挨拶がしっかりできている」「場に応じた着こなしができている」と答える生徒100%	学校評価アンケート（生徒）1 挨拶 97.8% 学校評価アンケート（生徒）2 服装 94.8%	B	挨拶はできるようになったが、TPOに合わせた挨拶や、もっと元気のある挨拶ができるようになりたい。今後は、学年や学科、部活動と連携して挨拶励行の徹底を図りたい。また、集会時の正装に関しては式典や集会時には正装する意義や必要性を持たせたい。
		遅刻者の年間平均が1日1人以内	1学期 平均0.77人 2学期 平均0.93人	B	学年平均だと1年生が1人を超えている。原因は長欠や持病持ちだと考えられる。また、2学期に欠席等が集中するため、その対策も考えたい。
		自転車安全指導カードを交付された数が前年度より減少	自転車安全指導カード R5年度51枚→ R6年度11月までで7枚	B	前年度と比較して大幅に減少している。自転車事故が減らないことから、基本的な交通ルールの徹底が不十分であった。
		図書館の利用者数延べ3,000人以上	4～12月の延べ人数で、昼および放課後の利用者（2,348人）と授業等団体利用（933人）の合計が3,281人に達した。	A	一人当たりの平均貸出冊数は2.6冊（昨年度2.5冊）で、カウント外のコンビニ文庫も順調に活用されている。図書委員会による学期ごとの企画展示や、読みやすい「図書館だより」さらに生徒作成の工夫されたポップを定期的に掲示し、親しみやすい図書館作りができた。書籍のリクエストにも可能な限り対応。さまざまな事情を持った生徒が安心して本に向き合える環境であるよう、今後も利用者に配慮し運営していきたい。
イ	生徒を前面に出した教育活動を推進する。	「学校行事やクラス活動で互いに協力し合っている」と答える生徒90%以上	体育大会・文化祭・HRデー・LHR 学校評価アンケート（生徒）4 行事・クラス活動 96.1% 学校評価アンケート（保護者）9 89.5%	B	文化祭や体育大会などの学校行事に多くの生徒が積極的に参加し、充足感を得ていることは評価できる。保護者からの回答ではおおむね良好である。保護者への学校行事の告知や報告を今後も丁寧に行う必要がある。
		生徒会が企画した事業の実施	体育大会・文化祭時の生徒会企画の実施	A	文化祭に加えて、体育大会の生徒会種目を実施した。またこの2つの行事では、クラスTシャツの着用を許可した。
		部活動加入率95%以上	部活動加入率 95.1% 運動部64.3% 文化部30.8%	A	部活動加入率95.1%。2・3年生は加入が任意であるが、継続して部活動に取り組む生徒が多いのは良い傾向である。

イ	生徒を前面に出した教育活動を推進する。	「他の部員と協力して部としての目標達成のために努力している」と答える生徒80%以上	学校生活アンケート15 1年72% 2年76% 3年65%	A	部活動加入率が高い水準であることに比例し、チームとしての結束が不可欠な大会で成果を出していることから目標は達成していると考えられる。
ウ	授業改善と学習習慣の定着に重点を置き、生徒の基礎学力の定着を図るとともに、知識や技能を活用する力や思考力を育成する。	授業改善をテーマとした校内研修を、年3回以上実施	6月に2回、10月に1回授業改善特にICTの活用について研修を行った。	A	「教員は、ICTを取り入れた授業を行おうと努めている」の項目で78.6%「あてはまる」と回答している。今後も継続し、「全くあてはまらない」を0%にしたい。
		校外で授業参観をした教員80%以上	検証するデータがないが、定期訪問時に公開授業を行っている。	B	公開授業期間中に何回他教員の授業を参観したか回数を調べる等、授業参観について客観的に集計できるアンケート等の実施を検討する。
		「授業に主体的に取り組んでいる」と答える生徒80%以上	「授業に主体的に取り組んでいる」と答える生徒91.5%	A	グループワーク等でのICTの活用が増え、講義型の授業が減っている。一方、受動的な様子から積極的に授業を受ける様子が捉えられるので、今後も校内研修を重ね、効果的な授業づくりを進めていきたい。
		GWSなどの学習系クラウドサービスを授業で活用している教員80%以上	検証するデータがないため評価しにくい、校内研修でICTの活用について取り上げている。	B	数字には出せないが、多くの教員が授業で1台端末を活用している様子である。アンケート項目や回答方法の見直しなど成果目標を検証できるようなデータ収集方法を検討する必要がある。
		「家庭学習を毎日60分程度行っている」と答える生徒60%以上	家庭学習を毎日60分程度行っていると答える生徒25.6%	C	目標達成ができていない。1日1Pを無くした影響もあると思うので対策を考えていきたい。実習のレポートや資格取得のための自己学習を想定していたが、家庭における学習習慣の定着には至っていない。今後は、放課後の時間を活用し学校で学習習慣をつけさせることなどについて検討していく。
		「課題や提出物をしっかり出している」と答える生徒95%以上	「課題や提出物をしっかり出している」と答える生徒95.8%	A	全校集会や学年集会等での呼びかけや生徒が課題や提出物にきちんと取り組めるような年間行事予定を計画していきたい。肯定意見が95.8%を達成しており、ほぼ全ての生徒が期日までに提出物を出すことができている。
		基礎力診断テストの各科目で学習到達度D判定の生徒を前回より減少させる。	Dゾーンの生徒の割合 1年23% 2年37% 3年41%	C	4月のデータと比較するとどの学年もDゾーンの生徒が増加している。実施時期等の取り組み方法を検討していきたい。

エ	全体への計画的なキャリア教育と個に応じた進路指導の両面から、生徒の進路実現を支援する。	「進路について自分で情報を集めたり先生や保護者と相談したりしている」と答える生徒75%以上	アンケート結果 生徒90% 保護者84.9%	A	この数年間の様子を見てみると、実行できている生徒は増加している。取り掛かりが遅い生徒もいるため、もう少し早くから実行できると良い。
		「進路目標の早期作成に取り組んでいる」と答える生徒80%以上	アンケート結果 生徒86% 保護者90.5%	A	インターンシップの取り組みや、出前授業や現場見学会、ホビーショーなど地域の産業界との交流を通じ、生徒の進路意識を高揚させることができた。個に応じた進路指導、面接指導を行い、生徒の進路実現を図ることができた。しかし、各学科の学習内容に沿った職業選びができていないように感じる。
		学校紹介民間企業就職内定率100%	就職希望者は100%内定	A	今年度は第一希望としていた企業の求人が来ないケースがあったものの、たくさんの企業からの求人を頂いた。12月末時点で内定100%を達成した。
		公務員希望者の合格率80%以上	12月末時点10名中8人内定で80%	A	8名は希望する市役所、自衛隊に内定を頂いた。2月初旬に残り2名の合否が決定する。
		大学・専門学校進学希望者の第一志望校合格率90%以上	第一志望の合格率97.5%達成	A	3名の生徒が国公立大に挑戦し、2名が合格を果たした。総合型選抜(AO)や一般推薦等の入試で高い合格率を達成した。
オ	将来の工業技術者として必要な基本的な知識や技術、安全意識を身に付けさせる。	安全教育資料に基づく指導と5S・KYの徹底により、実習中の事故0件を達成する。	実習中のけが14件(軽微なものを含む)	B	年度当初に安全教育を行い、安全意識の徹底を図った。また毎時間、実習前に必ず安全確認を行い事故防止に心がけた。生徒の安全意識は高い。電子工作を行うこともあり今後もやけどや感電等の事故が無いようにしていきたい。
		課題研究論文集の作成や、発表会開催により、校内での学習成果を共有する。	課題研究文集の作成、各科での課題研究発表会の実施、代表の班による校内発表の実施	A	各班で決めたテーマに向けて1年間取り組み、問題意識や課題解決能力を養うことができた。また文集の作成や発表会に向けての準備など、自分たちの研究成果を他の生徒に共有させる取り組みができた。1月24日には、全校における発表会を行う。

オ	将来の工業技術者として必要な基本的な知識や技術、安全意識を身に付けさせる。	各科で重視する資格・検定について、目標合格率を定め、達成する。	ボイラー、溶接、製図検定など80%以上の合格率達成 第2種電気工事士合格率98% 2級土木施工管理技術検定合格者25名(71%)	A	ボイラー取扱技能講習、アーク溶接技能講習、ガス溶接特別教育、機械製図検定などにおいて合格率80%を超す事ができた。 第2種電気工事士については3年生37名所得、2年生は31名合格し、10名は下期試験を受験し現在結果待ちである。第1種電気工事士は2年生で1名合格した。2級土木施工管理技術検定(第一次検定)は今年度も70%以上の合格率を維持できた。
		ジュニアマイスター顕彰制度において、ゴールド・シルバー合わせて20名以上認定を受ける。	ブロンズ0人 シルバー8人 ゴールド5人 (内1人は特別表彰)	B	1年時からの積み重ねのため、どのように学習を重ねていくかが来年度に向けての課題となる。今後は、学科に関係する資格・検定以外の様々な資格・検定にも挑戦させていきたい。
		県高校生競技大会や公募コンテスト等に団体・個人合わせて参加25件以上、上位入賞5件以上	ものづくりコンテスト東海大会、溶接部門、測量部門に出場。 静岡県ものづくり競技大会の旋盤1名、溶接2名、CAD2名、ITネットワークシステム管理3名 木材加工2名、測量4名出場。 ロボットアイデア甲子園中部大会に5名参加	B	溶接ではものづくり東海大会第3位であった。 エコラン大会は参加予定であったものの残念ながら悪天候の為大会が中止となった。各部門に参加する生徒は、日々の積み重ねをしっかりと行い努力することができた。指導のノウハウをどう伝え今後の活動に役立ていくかが課題となる。 ロボットアイデア甲子園では、初めて全国大会へ出場した。全国大会では特別賞(不二越賞)を受賞した。
カ	積極的な情報発信や、保護者・地域・産業界と連携した教育活動を推進し、地域に信頼される学校づくりを推進する。	島工通信 年6回以上発行 公式SNS(X)またはHP 記事掲載 月25本以上 (工業科+学年月15本以上) (普通科+部活動月10本以上)	島工通信 年7回発行 公式SNS(X)またはHP 4~12月で合計300件投稿 記事掲載 月33.3件 (工業科+学年月18.2件 普通科+部活動10.6件) 学校評価アンケート(保護者)14 HP更新 (昨)58.8%→65.2%	A	記事投稿数は目標数値を達成している。新HPへの移行後も情報発信は続いている。 学校評価アンケート(保護者)の割合も昨年度に比べ大幅に増えた。 しかし、学校評価アンケート(保護者)「わからない」が28.1%と高く、新HPと公式SNSと両方で必要な情報を発信していきたい。

力	積極的な情報発信や、保護者・地域・産業界と連携した教育活動を推進し、地域に信頼される学校づくりを推進する。	島工生が中学生に説明する場面を増やす。 1日体験入学における中学生・保護者の満足度、ならびに中学校説明会における中学生・保護者の満足度各80%以上	体験入学 「工業高校の内容がよく分かった」80% 「工業高校の実習などに興味を持った」62.9% 中学生対象説明会 「島田工業高校の内容がよくわかった」74.3% 「島田工業高校の実習などに興味を持った」20%	B	体験入学の参加者数は昨年より減少しているが、昨年の類別選択体験から全科体験へと内容を変え、幅広い視点から工業高校の魅力をアピールできた。アンケートの結果からも82.7%が進路決定に役立つとの回答が得られた。また記述アンケートでも好意的な意見が多いことから目標である「中学生、保護者の満足度80%以上」に届いたと考えられる。地域の中学生の数が減少する中で、今後も丁寧な広報活動に努めていきたい。
		小中学校への出前授業や地域の方対象のものづくり教室等の開催年7回以上	六合こどもチャレンジへ参加（情報電子科） 六合文化祭への参加（機械科） 島工サイエンススクール（全科）	B	8月24日に六合公民館にてこどもチャレンジクラブに参加した。ドローン操作体験を行い、いかに障害物を素早く超えて、既定の航路を進めるかタイムの競争をするなど大変喜んでいただいた。
		保護者が参加・参観する行事の開催年7回以上	進路ガイダンス、保護者向け説明会 7回以上実施	A	文化祭は入場制限を撤廃した結果、多くの保護者が来場して授業以外の生徒の様子を見てもらった。また、PTA展では各地区からの協力で本部バザーを盛り上げた。 PTA理事会3回、総会、総会に合わせ公開授業、PTA地区研修会、オープンスクールを実施した。
		地域の企業・大学等による出前授業の開催年10回以上	潮トンネル見学（E・J科） 各種TVに出演（J科）	B	今年初めて情報電子科が見学会へ参加した。 発明した（デジタル聴診器、耳鳴り抑制装置）が全国で放送された。 機械科では出前授業を、建築科・都市工学科では現場見学会を実施した。
		生徒の地域防災訓練参加率70%以上	12月に実施される地域防災訓練への参加を促す。	B	12月の地域防災訓練への参加率は27.7%であり、昨年度よりは増加したが目標数値には達していない。しかし、生徒の学校評価アンケートからは59.1%が危機管理意識が向上していると回答があった。
キ	生徒が安心・安全に授業や諸活動に取り組める環境を整えられるよう、教職員の資質向上に努める。	不祥事根絶研修を毎月実施する。	毎月、職員会議の後に実施した。	A	毎月の職員会議の他、6月には教職員各自で、不祥事根絶に関するチェックシートを記入して確認する研修、12月には不祥事根絶に関する動画視聴による研修を実施した。

キ	生徒が安心・安全に授業や諸活動に取り組める環境を整えられるよう、教職員の資質向上に努める。	「こころと身体」のチェックリスト調査」と「学校生活アンケート」を実施し、回答内容によってはケース会議を実施する。	各学期に2種類のアンケートを実施した。長期休業明けには別のアンケートを実施した。	A	アンケート結果を踏まえて生徒と面談し、本校の相談室につなげることができた。また、長期休業明けアンケートでは、生徒の健康観察、心の観察を行うことができた。
		情報セキュリティに関する校内研修 年1回以上	情報セキュリティに関する研修 1回以上実施	A	定期的に情報担当より全職員に情報提供等を行っている。今後も継続して実施したい。
		危機管理マニュアルの内容の確認	危機管理マニュアルの点検・活用の徹底	B	年1回の火災訓練実施に基づき、12月に避難動線を複数方向に分けた火災避難訓練を実施した。
		AEDによる救命や応急手当に関する研修 年1回	1月に外部講師を呼んで実施した。	A	AEDの使用方法や使用する場面、本校のAEDの設置場所について、職員全体で共有することができた。
ク	組織的な業務改善を推進し、生徒に向き合う時間の確保、教職員の心身の健康保持に努める。	紙の使用量を前年度比10%削減する。	印刷用紙購入数（12月時点） 1229枚 →899枚 1枚500シート 9%削減 (12月末時点)	A	アンケートなどをGoogle Formsなどで行うことで紙の使用量を減少させることができた。今後も資料はクラスルームにアップし、各種会議資料も同様にできればと考えている。配布資料等の電子化を図った。PTA・後援会総会資料を電子化して配布（1冊27枚の資料：会員数569人）。
		教員1人あたりの時間外勤務を昨年度より削減する。	年間総時間外在校等時間(平均) 4月～12月 281時間13分 →294時間14分	C	校内分掌における配置の見直しや職員安全衛生委員会の委員による声かけ等を実施した。しかし、部活動以外の教材研究でも時間外勤務が増加したことや、大幅な分掌替えや5年に一度の本監査や検査、調査と委託業務の発注、前年度にはなかった業務が集中したことが要因であると思われる。令和8年度までを視野に入れた分掌の割振りを計画し、今年度よりも削減することを目指していきたい。
		夏季休暇取得率100%	確認したが、夏季休暇は取得できている様子であった。 夏季休暇取得率90.77%	B	運動部の顧問も含めて取得できていた。一部の職員について、制度の改正で10月末まで取得できることを周知されていなかったことが原因の1つだと推測される。次年度は周知し100%を目指す。

ク	組織的な業務改善を推進し、生徒に向き合う時間の確保、教職員の心身の健康保持に努める。	文化の匠、部活動支援員、相談員等の外部人材を4人以上配置する。	文化の匠 1人 部活動指導員 2人 部活外部指導者 2人	A	外部人材を配置することにより、教員の多忙化解消、生徒の活動機会の確保につながった。
ケ	公費の適正かつ効果的な執行に努め、生徒の学習環境を充実させる。	「安全で快適に生活できる施設・設備が整っている」と答える生徒85%以上	学校評価アンケート（生徒）25 87.7%→85.8% 学校評価アンケート（保護者）21 87.7%→91.5%	A	施設設備の老朽化が進行したことが、生徒からの評価が低いと思われるが、自力で対応可能なものは、迅速に対応した。限られた予算の範囲で、効果的に執行し、生徒の学習環境を充実させる。
		監査での文書指摘事項ゼロ	監査、会計・物品事務検査における文書指摘事項ゼロ	A	日々、緊張感をもって業務に従事した。最終決裁者が誤りを指摘する案件も多いので、一人ひとりが厳正なチェックを意識する必要がある。

(2) 令和7年度取組計画

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
ア	基本的生活習慣の確立、規範意識や社会性の育成を通して、人間力の基礎を築く。	登校指導をはじめとする日常の指導を通して、生活習慣を確立させる。	「挨拶がしっかりできている」「場に合った着こなしができている」と答える生徒100%。 遅刻者の年間平均が1日1人以内
		交通ルールやマナーを守り、自分の身は自分で守る意識を涵養する。	自転車安全指導カードを交付された数が前年度より減少
		朝読書を通して豊かな感性を育む。	図書館の利用者数延べ3,000人以上
イ	生徒を主体とした教育活動を推進する。	生徒会活動、地域活動、部活動等への積極的な参加を勧めるとともに、各活動において生徒が能力や関心に応じて主体的に参加できる場面を増やす。	「学校行事やクラス活動で互いに協力し合っている」と答える生徒90%以上
			生徒会が企画した事業の実施
			部活動加入率95%以上
ウ	授業改善と学習習慣の定着に重点を置き、生徒の基礎学力の定着を図るとともに、知識や技能を活用する力や思考力を育成する。	1人1台端末を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、授業改善を推進する。	「他の部員と協力して部としての目標達成のために努力している」と答える生徒80%以上
			授業改善をテーマとした校内研修を年3回以上実施
			校外で授業参観をした教員90%以上 「授業に主体的に取り組んでいる」と答える生徒90%以上 GWS等の学習系クラウドサービスやアプリを授業で活用している教員80%以上

ウ	授業改善と学習習慣の定着に重点を置き、生徒の基礎学力の定着を図るとともに、知識や技能を活用する力や思考力を育成する。	各教科で適切な量の課題を課し、学習習慣を定着させるとともに、学習に主体的に取り組む生徒を育てる。	「家庭学習を毎日60分程度行っている」と答える生徒50%以上
		「学びの基礎診断」を実施し、基礎学力向上に活用する。	「課題や提出物をしっかり出している」と答える生徒95%以上
			基礎力診断テストの各科目で学習到達度D判定の生徒を前回より減少させる。
エ	全体への計画的なキャリア教育と個に応じた進路指導の両面から、生徒の進路実現を支援する。	進路説明会やLHR等を活用し、志を育む進路指導を推進する。	「進路について自分で情報を集めたり先生や保護者と相談したりしている」と答える生徒80%以上
		職業研究やインターンシップを通じて、生徒の職業観を育成する。	「進路目標の早期作成に取り組んでいる」と答える生徒80%以上
		進路検討会を複数回開催し、就職希望者や進学希望者への指導を組織的に行う。	学校紹介民間企業就職内定率100%
			公務員希望者の合格率80%以上
			大学・専門学校進学希望者の第一志望校合格率90%以上。
オ	将来の工業技術者として必要な基本的な知識や技術、安全意識を身に付けさせる。	将来の技術者に不可欠な、作業の基本的姿勢を身に付けさせる。	安全教育資料に基づく指導と5S・KYの徹底により、実習中の事故0件を達成する。
		実習や課題研究を通してものづくりの手法を学び、探究型学習を実践する。	課題研究論文集の作成や、発表会開催により、校内での学習成果を共有する。
		工業の知識や技能を深め、将来に生かすため、資格取得や技能競技大会への参加を促すとともに、目標実現に向け努力する姿勢を培う。	各科で重視する資格・検定等について、目標合格者を定め達成する。 ・工業基礎力テスト平均点60点以上 ・第2種電気工事士 ・情報技術検定2級 ・2級土木施工管理技士補等の合格率60%以上
			ジュニアマイスター顕彰制度において、ゴールド・シルバー合わせて20名以上認定を受ける。
			県高校生競技大会や公募コンテスト等に団体・個人合わせて参加25件以上、上位入賞5件以上
カ	積極的な情報発信や、保護者・地域・産業界と連携した教育活動を推進し、地域に信頼される学校づくりを推進する。	学校通信、公式ホームページ、公式SNSを活用した学校広報活動を推進する。	島工通信 年6回以上発行 公式SNS(X)またはHP 記事掲載 月25本以上
		体験入学や中学校説明会において、中学生に工業高校の魅力をアピールする。	島工生が中学生に説明する場面を増やす。 1日体験入学における中学生・保護者の満足度、ならびに中学校説明会における中学生・保護者の満足度 各80%以上

カ	積極的な情報発信や、保護者・地域・産業界と連携した教育活動を推進し、地域に信頼される学校づくりを推進する。	校外で学習の成果を発揮し、地域との交流を積極的に行い、生徒の姿を多くの方に見ていただく。	小中学校への出前授業や地域の方対象のものづくり教室等の開催年 7 回以上
		保護者に情報を発信し、連携を深める。	保護者が参加・参観する行事の開催年 7 回以上
		地域の企業・大学等を招いて出前授業を実施し、各科における学びを深める。	地域の企業・大学等による出前授業の開催 年10回以上
		家庭・地域との連携により生徒の防災意識を高める。	生徒の地域防災訓練参加率70%以上
キ	生徒が安心・安全に授業や諸活動に取り組める環境を整えられるよう、教職員の資質向上に努める。	職員の不祥事を根絶する。	不祥事根絶研修を毎月実施する。
		悩みを抱える生徒や特別な支援を要する生徒を把握し、必要な対応を行う。	「こころと身体チェックリスト調査」と「学校生活アンケート」を各学期に、「健康観察・心の観察アンケート」を長期休み明けに実施し、回答内容によってはケース会議を実施する。
		校内で保有している情報を適切に管理し、セキュリティ事故を防ぐ。	情報セキュリティに関する校内研修年 1 回以上
		自然災害や校内での事故などへの初期対応の知識や技術を身に付ける。	危機管理マニュアルの内容の確認 A E D による救命や応急手当に関する研修 年 1 回
ク	組織的な業務改善を推進し、生徒に向き合う時間の確保、教職員の心身の健康保持に努める。	校務に I C T を活用し、ペーパーレス化を進める。	紙の使用量を前年度比 5 % 削減する。
		職務内容・分担の見直しや C - ラーニング等の I C T の活用により業務改善を行い、働きやすく、休暇取得しやすい環境を整える。	教員 1 人あたりの時間外勤務を昨年度より削減する。 夏季休暇取得率100%
		外部の専門人材との連携・協働に努め、教員の勤務時間削減を進める。	文化の匠、部活動支援員、相談員等の外部人材を 4 人以上配置する。
ケ	公費の適正かつ効果的な執行に努め、生徒の学習環境を充実させる。	教育ニーズに応じた予算の執行により、教育用備品・施設・設備の整備を進める。	「安全で快適に生活できる施設・設備が整っている」と答える生徒85%以上。
		法令を遵守し、正確で迅速な会計事務処理を行う。	監査での文書指摘事項ゼロ。

4 監査対象期間における特色ある取組み

年度	取 組 概 要	成果及び課題
令和6年度	1 地域の環境美化活動(河川及び側溝清掃作業)に生徒が参加することで地域社会との連携を推進	4月14日(日) 運動部の生徒101名が参加して学校周辺の河川及び側溝清掃作業を実施し、地域貢献と地域住民との交流を果たした。今後も運動部を中心にさらに活動の輪を広げ参加生徒を増やしていきたい。
	2 台湾の高校生との交流	地域振興交流協会からの依頼を受け、5月27日(月)に台湾で工業の内容について学んでいる高校生と本校建築科の生徒との交流を実施した。
	3 リッチモンド市友好親善使節との交流	島田市国際交流協会から依頼があり、リッチモンド市友好親善使節5名と通訳の方1名が本校に来校し、3限目に14・15HRの英語コミュニケーションの授業に参加した。
	4 ウォールアートの作成	近隣の企業主催の第12回ウォールアートに美術部が参加。今回のテーマは「宝物」。近隣高校の作品とともに学校周辺の景観に一躍担った。
	5 「島田空襲」のドキュメンタリー映像製作による地域貢献	島田市からの依頼を受け、情報技術科放送技術班の生徒が島田空襲の真相に迫るドキュメンタリー映像を制作。「島田空襲被爆者慰霊のつどい」の様子を撮影や、遺族等へのインタビューにより貴重な証言を収録した。さらに、長崎原爆投下の訓練とも言われる模擬爆弾が島田市へ投下された経緯も盛り込んだ作品に仕上げ、8月15日(木)に市平和記念式典で上映した。
	6 地元公民館の特別講座「子どもチャレンジクラブ」	8月24日(土)に島田市の六合公民館が主催する「六合子どもチャレンジクラブ」で、本校の情報電子科生徒が講師となり、近隣の小学生15人にドローンやライトレースカーの体験を行った。
	7 点群データ活用プロジェクト	9月12日(木)から10回静岡地理情報システム協同組合に講師をお願いし、点群データに関する講義や点群データの活用方法などを都市工学科の課題研究の授業で実施した。
	8 島田髷まつり 映像の撮影と配信	9月15日(日)に行われる「島田髷まつり」の映像の撮影及び配信を、島田市から本校情報技術科放送技術班へ依頼があり、その時の映像をYouTubeへ配信した。
	9 六合コミュニティ文化祭での活動	10月28日(土)、29日(日)午前9時～午後3時、島田市の六合公民館にて実施。本校の授業で取り入れている「金属折り鶴」の体験を小学生から高齢者まで幅広い方が体験した。
	10 「(仮称)クリーンセンター」の模型製作による地域貢献	志太広域事業組合からの要請で建築科3年生が課題研究において「(仮称)クリーンセンター」の模型製作に取り組んでいる。この製作活動をとおり、生徒のものづくりに対する関心や技能を高めるとともに、地域貢献による自己有用感、自己肯定感の高揚を図ることを目的としている。完成した模型は、現地に展示されている。
	11 島工サイエンススクール	11月24日(金)午後、六合中学校の生徒を対象に工業高校の通常の学校生活を紹介するとともに、ものづくりの楽しさを伝えた。
令和7年度	1 地域の環境美化活動(河川及び側溝清掃作業)に生徒が参加することで地域社会との連携を推進	4月13日(日) 運動部の生徒を中心に学校周辺の河川及び側溝清掃作業を計画し、準備をしていたが、雨天のため中止となった。今後も運動部を中心にさらに活動の輪を広げ参加生徒を増やしていく。
	2 ウォールアートの作成	近隣の企業主催の(第13回)ウォールアートに参加。今回のテーマは「成長」。学校周辺の景観に一躍担った。
	3 地元公民館の特別講座「子どもチャレンジクラブ」	島田市の六合公民館が主催する「六合子どもチャレンジクラブ」で、本校の建築科が実施する計画を進めている。
	4 大井川川越遺跡「川会所」の模型製作による地域貢献	本校建築科の卒業生である静岡県文化財保存協会会員の久保山幸治様からの要請で、建築科3年生が課題研究において大井川川越遺跡にある「川会所」の模型製作に取り組んでいる。郷土の有名な建築物でありながら、高校生や市民はその歴史を知らない人が多いため、木構造から瓦まで忠実に当時の建物を調査・研究し、模型製作を通じて市役所に展示し、市民に知らせることが目的です。完成した模型は、島田市博物館に寄贈する予定です。

5 教職員について

(1) 異動状況

職名 区分	本務職員													臨時・会計年度任用職員										合計	
	教育職員							行政職員						教諭（臨時）	特別教諭	実習助手（任期）	非常勤講師	部活動指導員	外国語指導講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	小計			
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	小計	事務長	主査	主任	主事	小計										計		
転出者	0	0	0	5	0	0	0	5	0	1	0	1	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
退職者	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	0	0	1	1	1	1	1	1	10	11
転入者	0	0	0	4	0	0	0	4	0	0	1	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
新任者	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1	1	2	0	0	1	2	9	10	
再任用（退職）	0	0	0	9	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
再任用（新任）	0	0	0	10	0	0	0	10	0	0	1	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
差引増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	3	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1

(2) 現員数

職名 区分		本務職員												臨時・会計年度任用職員										合計
		教育職員							行政職員					教諭（臨時）	特別教諭	実習助手（任期）	非常勤講師	部活動指導員	外国語指導講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	小計		
		校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	実習助手	小計	事務長	主査	主任	小計										計	
男		1	1	1	40	0	2	1	46	1	0	2	3	49	2	1	1	4	0	0	2	0	10	59
女		0	0	0	8	1	0	1	10	0	1	1	2	12	0	0	0	1	0	0	1	2	4	16
計		1	1	1	48	1	2	2	56	1	1	3	5	61	2	1	1	5	0	0	3	2	14	75

(3) 健康管理について

年度	達成目標	実績（成果）と課題
令和6年度	健康診断の完全実施 執務環境の改善	健康診断受診率は100%だった。 職員安全衛生委員会を毎月1回開催した。 1月29日(水)にAED講習会を実施した。
令和7年度	健康診断の完全実施 執務環境の改善	現在健康診断実施中である。 執務環境の改善については、毎月実施する職員安全衛生委員会において協議検討中である。業務改善を通して働き方改革をすすめていく。

(4) 教職員の研修について

年度	研修の目的	研修内容	成果と課題
令和6年度	ICT活用能力向上研修	1人1台端末を活用した授業を展開し、学習成果を高めるとともに、授業力の向上を図ることを目的として、6月5日、6月24日、10月2日の年3回の研修を実施した。	ICTを活用した授業についての講義やGoogle works spaceを用いた授業改善の実践方法や文書処理における校務の効率化の研修、本校の教員による授業実践事例など、多くの先生が、1人1台端末を用いた授業を実践しており、他の先生がICTを使った授業を行う上で、大変役立った研修となった。

令和7年度	ICT活用能力向上研修	本校のスクール・ポリシーを意識し、課題研究等の授業や科目を跨いだ横断的な授業を行うことで、学習成果を高めるとともに、授業力の向上を図ることを目的として、年3回の研修を行う計画である。	今年度はAIとの関わり方を含めたGoogle works space を用いた授業改善、校務の効率化の研修やICT等を活用した魅力ある授業を目指すための研修を行う。
-------	-------------	---	--

6 防災対策について

年度	達成目標	取組内容	成果と課題
令和6年度	毎回の避難所運営会議に教頭が参加することで、地域住民との連携を深めていく。 危機管理マニュアルを点検し、改善する場合、教職員に周知した上で、改善を行う。	危機管理マニュアルの点検・改善作業と、教職員への周知を徹底した。 防災倉庫内の収納物の確認を行った。防災用飲料水、食料の賞味期限の確認をした。 天候や交通状況などの情報収集を迅速に行い、適切な安全対策を行った。	地域住民との避難所運営会議では、体育館や生活館などの避難所の確認を行い、災害時に支障のない運営ができるように今後も検討していく。 熱中症に関しては、「熱中症特別警戒アラート」が創設された。そのため、先生方にも熱中症警戒アラートが発令された場合は、活動の実施判断を明確にしていける必要がある。
令和7年度	毎回の避難所運営会議に教頭参加することで、地域住民との連携を深めていく。 危機管理マニュアルを点検し、改善する場合、教職員に周知した上で、改善を行う。	危機管理マニュアルの点検・改善作業と、教職員への周知を徹底する。 防災倉庫内の収納物の確認をする。防災用飲料水、食料の賞味期限の確認をする。 熱中症対策について、先生方に周知していく。	地域住民との避難所運営会議では、体育館や生活館などの避難所の確認を行い、災害時に支障のない運営ができるように今後も検討していく。 労働安全衛生規則の一部を改正する省令が施行され、熱中症の重篤化を防止するための「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者に義務付けられたため、学校として対応していく。

7 学校開放について

施設名	利用種目	令和6年度			令和7年度(令和7年6月30日現在)		
		利用日数	利用者数	利用者負担額	利用日数	利用者数	利用者負担額
体育館	バレーボール	61 日	768 人	5,060 円	18 日	310 人	1,313 円
	バスケットボール	99 日	2,453 人	13,899 円	27 日	473 人	2,575 円
	バドミントン	82 日	1,821 人	6,848 円	22 日	425 人	1,603 円
	体操	35 日	995 人	7,341 円	6 日	161 人	1,081 円
武道場	体操	270 日	2,841 人	20,016 円	54 日	437 人	3,619 円
卓球場	卓球	34 日	397 人	5,431 円	28 日	291 人	4,764 円
グラウンド	野球	5 日	183 人	0 円	1 日	25 人	0 円
	サッカー	1 日	23 人	0 円	0 日	0 人	0 円
校舎	検定等	9 日	451 人	0 円	2 日	62 人	0 円
計		596 日	9,932 人	58,595 円	158 日	2,184 人	14,955 円

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、 第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法 産業教育振興法施行令
2 学校の管理・運 営に関する こと	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条）

□□□□□□

学 校 施 設 の 概 要

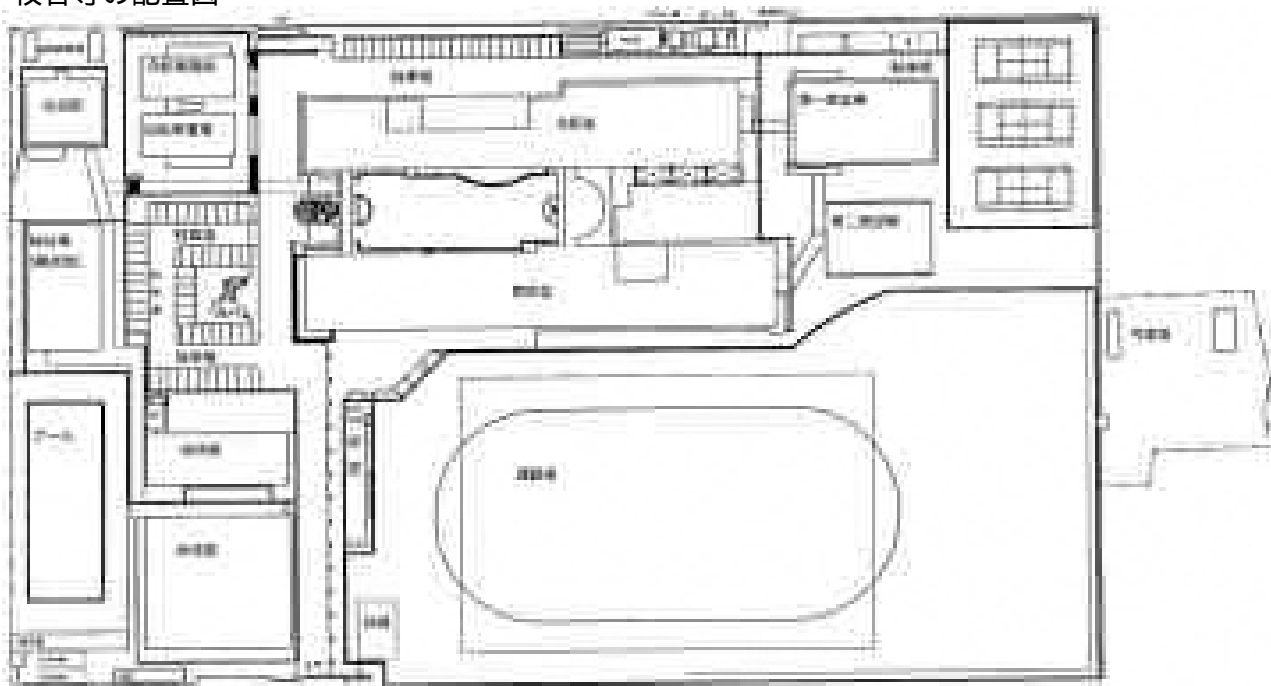
1 面積及び所有区分

(令和7年6月30日現在)

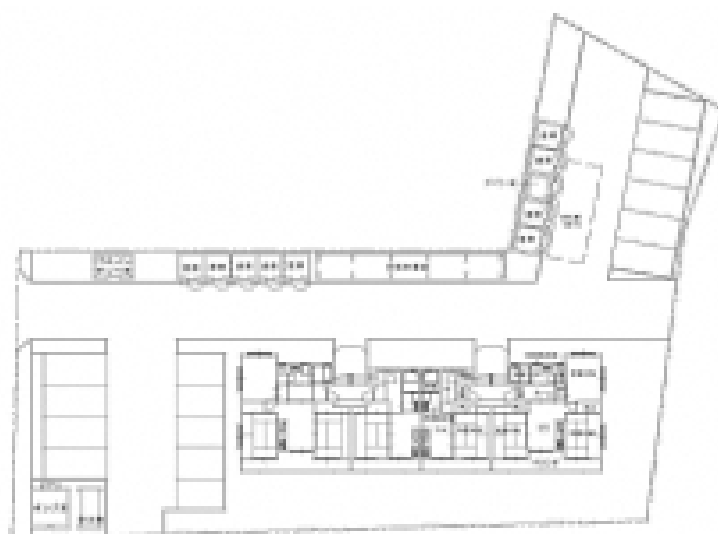
区 分	面 積 ㎡	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 ㎡	国 有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民 有 ㎡	
学 校 敷 地	48,633.92	48,633.92					
内 訳	校 舎 敷 地	24,819.52					
	運 動 場 敷 地	21,957.00					
	その他の敷地	1,857.40					
校 舎	建 5,993.48	5,993.48					
	延 13,745.55	13,745.55					
体 育 館	建 1,184.08	1,184.08					
	延 1,375.54	1,375.54					
格 技 場	建 1,078.71	1,078.71					
	延 1,078.71	1,078.71					
そ の 他 の 建 物	建 1,215.39	1,215.39					
	延 1,682.20	1,682.20					
生 活 館	建 334.82				334.82		
	延 552.09				552.09		
プ ー ル	1 個	1					8 コース 50m × 18.9m
職 員 住 宅	16 戸	16					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



教職員住宅



(2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	48,633.92 m ²	13,745.55 m ²	21,957.00 m ²
県 平 均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

□□□□□□

在 籍 生

学年	学科別 区分		類															
			機械科				電気科				情報電子科				計			
	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計		
1年	入学者													120	92	8	100	
		増加																
		減少																
	現在														92	8	100	
2年	入学者													120	88	5	93	
		増加																
		減少													3		3	
	2年時当初			32	1	33		35	3	38		18	1	19		85	5	90
		増加																
		減少																
	現在			32	1	33		35	3	38		18	1	19		85	5	90
3年	入学者													120	117	6	123	
		増加																
		減少													3		3	
	2年時当初			37	1	38		37	4	41		40	1	41		114	6	120
		増加																
		減少																
	3年時当初			37	1	38		37	4	41		40	1	41		114	6	120
		増加																
		減少																
現在			37	1	38		37	4	41		40	1	41		114	6	120	
合 計				69	2	71		72	7	79		58	2	60		291	19	310

徒 調

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

類												合 計			
建築科				都市工学科				計							
定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
								80	40	13	53	200	132	21	153
									40	13	53		132	21	153
								80	42	11	53	200	130	16	146
									(1)		(1)		(1) 3		(1) 3
	12	9	21		31	2	33		43	11	54		128	16	144
	12	9	21		31	2	33		43	11	54		128	16	144
								80	66	15	81	200	183	21	204
									1		1		4		4
	33	8	41		32	7	39		65	15	80		179	21	200
					1		1		1		1		1		1
	33	8	41		31	7	38		64	15	79		178	21	199
	33	8	41		31	7	38		64	15	79		178	21	199
	45	17	62		62	9	71		147	39	186		438	58	496

入学志願者及び入学者数調

区分			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
学 科 別	類	類	計	類	類	計	類	類	計	類	計
生徒定員(A)	120	80	200	120	80	200	120	80	200	120	200
募集者数(B)	120	80	200	120	80	200	120	80	200	120	200
志願者数	男	110	49	159	115	55	170	141	64	205	
	女	6	18	24	6	28	34	7	15	22	
	計(C)	116	67	183	121	83	204	148	79	227	
受検者数	男	109	49	158	115	55	170	141	64	205	
	女	6	18	24	6	28	34	7	15	22	
	計(D)	115	67	182	121	83	204	148	79	227	
合格者数	男	109	49	158	114	53	167	117	66	183	
	女	6	18	24	6	27	33	6	15	21	
	計(E)	115	67	182	120	80	200	123	81	204	
志願倍率	(C)/(B)	0.97	0.84	0.92	1.01	1.04	1.02	1.23	0.99	1.14	
受検倍率	(D)/(B)	0.96	0.84	0.91	1.01	1.04	1.02	1.23	0.99	1.14	
入学者数	男	108	49	157	114	52	166	117	66	183	
	女	6	18	24	6	27	33	6	15	21	
	計(F)	114	67	181	120	79	199	123	81	204	
充足率	(F)/(A)	0.95	0.84	0.91	1.00	0.99	1.00	1.03	1.01	0.99	

区分			令和6年度			令和7年度		
学 科 別	類	類	計	類	類	計	類	計
生徒定員(A)	120	80	200	120	80	200	120	200
募集者数(B)	120	80	200	120	80	200	120	200
志願者数	男	88(2)	42(1)	130(3)	92(1)	41	133(1)	
	女	5	11	16	8	14(1)	22(1)	
	計(C)	93(2)	53(1)	146(3)	100(1)	55(1)	155(2)	
受検者数	男	88(2)	42(1)	130(3)	92(1)	41	133(1)	
	女	5	11	16	8	13(1)	21(1)	
	計(D)	93(2)	53(1)	146(3)	100(1)	54(1)	154(2)	
合格者数	男	88(2)	42(1)	130(3)	92(1)	40	132(1)	
	女	5	11	16	8	13(1)	21(1)	
	計(E)	93(2)	53(1)	146(3)	100(1)	53(1)	153(2)	
志願倍率	(C)/(B)	0.76	0.65	0.72	0.83	0.68	0.77	
受検倍率	(D)/(B)	0.76	0.65	0.72	0.83	0.66	0.76	
入学者数	男	88	42	130	92	40	132	
	女	5	11	16	8	13	21	
	計(F)	93	53	146	100	53	153	
充足率	(F)/(A)	0.78	0.66	0.73	0.83	0.66	0.77	

()は再募集による人数
志願者の希望により第2希望の学科で合格する場合がある。

卒 業 生 の 動 向 調

1 進路状況

学 科 別		機械科			電気科			情報電子科		
年 度		4 年度	5 年度	6 年度	4 年度	5 年度	6 年度	4 年度	5 年度	6 年度
卒業生徒数		40	37	37	40	38	38	40	29	36
内 進 学 者 就 職 者 自 営 者 進 学 準 備 者 其 他 合 計	(進学志望者)	(11)	(12)	(14)	(13)	(4)	(9)	(34)	(24)	(24)
	大学・短大	3	5	4	9	2	5	14	13	9
	専修・各種学校等	8	7	10	4	1	4	18	11	15
	小 計	11	12	14	13	3	9	32	24	24
	就職者	29	24	23	27	35	29	6	5	12
	自営者									
	進学準備者							2		
	その他		1							
合 計		40	37	37	40	38	38	40	29	36

学 科 別		建築科			都市工学科			計		
年 度		4 年度	5 年度	6 年度	4 年度	5 年度	6 年度	4 年度	5 年度	6 年度
卒業生徒数		37	30	39	36	33	35	193	167	185
内 進 学 者 就 職 者 自 営 者 進 学 準 備 者 其 他 合 計	(進学志望者)	(24)	(20)	(20)	(14)	(17)	(15)	(96)	(77)	(82)
	大学・短大	16	11	14	10	13	10	52	44	42
	専修・各種学校等	8	9	6	4	4	5	42	32	40
	小 計	24	20	20	14	17	15	94	76	82
	就職者	13	10	19	22	15	20	97	89	103
	自営者									
	進学準備者							2		
	その他					1			2	
合 計		37	30	39	36	33	35	193	167	185

2 求人状況

区 分	4 年度	5 年度	6 年度
就 職 希 望 者 数	93	86	93
求 人 数	1,812	1,522	1,968
求 人 倍 率	19.48	17.70	21.16

3 資格取得状況

(令和6年度)

学科別			機械科	電気科	情報電子科	建築科	都市工学科	計
卒業生徒数			37	38	36	39	35	185
資格取得状況 (種別)	情報技術検定	2 級			26			26
	情報技術検定	3 級	14	36	30			80
	計算技術検定	3 級	31	35	27	38	32	163
	基礎製図検定		33					33
	機械製図検定		30					30
	日本語ワープロ検定	1 級			1			1
	日本語ワープロ検定	準 1 級			2			2
	日本語ワープロ検定	2 級			6			6
	日本語ワープロ検定	準 2 級			16			16
	日本語ワープロ検定	3 級				27	11	38
	情報処理技能検定	1 級			4			4
	情報処理技能検定	準 1 級			3			3
	情報処理技能検定	2 級			12			12
	情報処理技能検定	準 2 級			14			14
	ホームページ作成検定	2 級			6			6
	ホームページ作成検定	3 級			2			2
	実用英語技能検定	準 1 級			1			1
	実用英語技能検定	2 級	2			1		3
	実用英語技能検定	準 2 級		1	3	5		9
	実用英語技能検定	3 級	1	1	4	1		7
	日本漢字能力検定	2 級				2		2
	日本漢字能力検定	準 2 級	2	5	1	1		9
	日本漢字能力検定	3 級	1	1				2
	技能士(建築大工・大工工事)	3 級				5		5
	ボイラー技士	2 級	2		1			3
	ボイラー取扱技能講習		14	13		3		30
	小型ボイラー取扱業務				6			6
	品質管理検定	4 級	30					30
	ガス溶接技能講習		10					10
	アーク溶接特別教育		16					16

学科別			機械科	電気科	情報電子科	建築科	都市工学科	計
類 別)	小型車両系建設機械運転	特別教育				18	25	43
	電気工事士	第 1 種		5				5
	電気工事士	第 2 種		36	5			41
	低圧電気取扱			1	11			12
	認定電気工事従事者			2				2
	ITパスポート				12			12
	情報セキュリティ マネジメント				2			2
	プログラミング技 能検定	1 級			4			4
	土木施工管理技術 検定	2 級					25	25
	建築施工管理技術 検定	2 級				11		11
	危険物取扱者	乙種第 1 類	2					2
	危険物取扱者	乙種第 4 類	7	13	2			22
	危険物取扱者	乙種第 6 類	2		1			3
	陸上特殊無線技士	2 級			1			1
	アマチュア無線技 士	4 級			3			3
	福祉住環境コー ディネーター検定	2 級				1		1
	カラーコーディ ネーター	スタンダード				1		1
	小型移動式クレー ン運転	技能講習					2	2
合 計			197	149	206	114	95	761

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

(令和7年6月30日現在)(単位:人)

市町名	島田市	藤枝市	焼津市	牧之原市	吉田町	静岡市	その他	合 計
生徒数	175	97	127	26	50	4	17	496
構成比%	35.3%	19.6%	25.6%	5.2%	10.1%	0.8%	3.4%	100%

(2) 通学方法

(令和7年6月30日現在)(単位:人)

区 分	徒 歩	自 転 車	自転車 鉄道	鉄 道	鉄道 バス	バ ス	その他	合 計
生徒数	8	337	68	46	19	3	15	496
構成比%	1.6%	68.0%	13.7%	9.3%	3.8%	0.6%	3.0%	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年6月30日現在)(単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		12	11		23
男子	1 年	85	47	0	132
	2 年	81	32	15	128
	3 年	116	45	17	178
	計 (A)	282	124	32	438
	構成比	64.4%	28.3%	7.3%	100%
女子	1 年	9	12	0	21
	2 年	5	10	1	16
	3 年	11	9	1	21
	計 (B)	25	31	2	58
	構成比	43.1%	53.5%	3.5%	100%
合計	(A + B)	307	155	34	496
	構成比	61.8%	31.3%	6.9%	100%

□□□□□□

授 業 料 収

(全日制)

期 別	月 別	調定の状況								納期内収
		1 年		2 年		3 年		計		
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円
	5									
	6									
	7	12	356,400	19	564,300	21	623,700	52	1,544,400	1,485,000
	計	12	356,400	19	564,300	21	623,700	52	1,544,400	1,485,000
二 期	7									
	8									
	9									
	10	14	693,000	17	841,500	25	1,237,500	56	2,772,000	2,772,000
	11									
	12									
	計	14	693,000	17	841,500	25	1,237,500	56	2,772,000	2,772,000
三 期	12									
	1	14	554,400	17	673,200	25	990,000	56	2,217,600	2,178,000
	2									
	3	1	19,800					1	19,800	19,800
	計	13	534,600	17	673,200	25	990,000	55	2,197,800	2,158,200
合 計		39	1,584,000	53	2,079,000	71	2,851,200	163	6,514,200	6,415,200

納 状 況 調

(令和 6 年度)

収納の状況			異 動 者 等 の 状 況
納額 収納率	納期後 収納額	収 入 未済額	
%	円	円	A . 期首収納権利発生額 = 1,544,400円 (1 年 : 12名 × 9,900円 × 3 月) (2 年 : 19名 × 9,900円 × 3 月) (3 年 : 21名 × 9,900円 × 3 月) B . 収納権利増減 (▲) 額 = 0円 C . 収納必要額 A - B = 1,544,400円
96.2	0	59,400	
96.2	0	59,400	
			A . 期首収納権利発生額 = 2,772,000円 (1 年 : 14名 × 9,900円 × 5 月) (2 年 : 17名 × 9,900円 × 5 月) (3 年 : 25名 × 9,900円 × 5 月) B . 収納権利増減 (▲) 額 = 0円 C . 収納必要額 A - B = 2,772,000円
	59,400		
100.0	0	0	
			A . 期首収納権利発生額 = 2,217,600円 (1 年 : 14名 × 9,900円 × 4 月) (2 年 : 17名 × 9,900円 × 4 月) (3 年 : 25名 × 9,900円 × 4 月) B . 収納権利増減 (▲) 額 = 19,800円 3 月 7 日 : 1 年 : 就学支援金追加認定 ▲1 1 名 × 9,900円 × 2 月 = 19,800円 C . 収納必要額 A - B = 2,197,800円
98.2		39,600	
	39,600		
98.2	39,600	0	
98.5	99,000	0	D . 収納必要額 = 6,514,200円

□□□□□□

授 業 料 収

(全日制)

期 別	月 別	調定の状況								納期内収
		1 年		2 年		3 年		計		
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円
	5									
	6									
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二 期	7									
	8									
	9									
	10									
	11									
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三 期	12									
	1									
	2									
	3									
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0

納 状 況 調

(令和 7 年度) (令和 7 年 6 月 30 日現在)

収納の状況			異 動 者 等 の 状 況
納額 収納率	納期後 収納額	収 入 未済額	
%	円	円	A . 期首収納権利発生額 = 29,700円 (1 年 : 0 名 × 9,900円 × 3 月) (2 年 : 1 名 × 9,900円 × 3 月) (3 年 : 0 名 × 9,900円 × 3 月) B . 収納権利増減 (▲) 額 = 0円
0.0	0	0	C . 収納必要額 A - B = 29,700円
0.0	0	0	
0.0	0	0	
0.0	0	0	D . 収納必要額 = 29,700円

□ □ □ □ □ - □

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 6 月 30 日 現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	148	0
計	148	0

□ □ □ □ □ - □

預 金 調

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行 島田支店	無利息型 普通預金	0039209	静岡県立島田工業高等学校 資金前渡者 飯田 龍太郎	0	給与
静岡銀行 島田支店	無利息型 普通預金	0407474	(自振口) 静岡県立島田工業高等学校 資金前渡者 飯田 龍太郎	0	公共料金等 口座振替
残高合計				0	

委 託 料 等 歳 出 予 算 執 行 状 況 節 別 集 計 表

節 名	会計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち5年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,056,000	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		5,304,354	
計					6,259,550	6,360,354	0
(14) 工 事 請 負 費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		9,163,000	4,180,000
計					11,352,000	9,163,000	4,180,000
(16) 公有財産 購 入 費							
計					0	0	0
(17) 備 品 購 入 費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		552,200	
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費		9,383,000	
計					1,632,950	9,935,200	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		56,617,200	
計					59,398,640	56,617,200	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年6月30日現在)

節 名	会計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
					うち、6年度からの繰越額分	
(12) 委 託 料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	198,000	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	306,724	0
計					504,724	0
(14) 工 事 請 負 費						
計					0	0
(16) 公有財産 購 入 費						
計					0	0
(17) 備 品 購 入 費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	0
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	53,600	0
計					53,600	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金						
計					0	0

(令和6年度)

- 34 -

□□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

整理 番号	委託 業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額		契約 締結 方法	契約 期間	支出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額						
参考 1	消防用 設備等保守点 検業務	サンコー防 災㈱		5,940,000	0	5,940,000	6.4.1 ～ 7.3.31			島田高校外4校 消防用設備等保 守点検業務	島田高校
参考 2	浄化槽保守点 検業務	ニッケン消 毒㈱		1,463,000	0	1,463,000	6.4.1 ～ 7.3.31			島田商業高校外 6校 浄化槽保守 点検業務	島田商業高校
参考 3	自家用 電気工作物保 安管理業務	静岡ビル保 善㈱		2,739,000	325,766	3,064,766	6.4.1 ～ 7.3.31			川根高校外4校 自家用電気工作 物保守管理業務	川根高校
参考 4	水泳プール浄 化装置保守点 検業務	清化工業㈱		220,000	0	220,000	6.4.26 ～ 6.11.29			島田商業高校外 4校 水泳プール 浄化装置保守点 検業務	島田商業高校
参考 5	島田川根地区 県立学校建築 基準法第12条 に基づく定期 点検業務	(有)コーセイ 産業		1,643,290	0	1,643,290	6.7.26 ～ 6.10.31			ふじのくに国際 高校外4校 建築 基準法第12条に 基づく建築及び 建築設備の定期 点検業務	ふじのくに 国際高校
	合計	5件		12,005,290	325,766	12,331,056					

□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)
(令和7年6月30日現在)

整理 番号	委託 業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約 期間	支出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係)		円	円		円						
	警備業務	セコム(株)	9,085,824	5,940,000	0	5,940,000	一般	6.10.1 ～ 11.9.30	7.5.30 7.6.30	99,000 99,000	警報機器により伝達される異常の有無の監視及び異常に対する処置	6長期 島田工業高校 島田高校 島田商業高校 ふじのくに 国際高校
	小計		9,085,824	5,940,000	0	5,940,000				198,000		
2	建築物環境衛生管理業務	静岡ビルサービス(株)	3,577,640	3,465,000	0	3,465,000	一般	7.4.1 ～ 8.3.31			通年 建築物衛生管理技術者管理業務 年6回 空気環境測定業務 年2回 害虫駆除業務 年1回 貯水槽清掃 トイレ清掃 空調清掃 ワックス塗 排水管洗浄	
3	エレベータ保守点検業務	日本オーチス・エレベータ(株)静岡支店	1,161,600	1,161,600	0	1,161,600	随契	7.4.1 ～ 8.3.31	7.5.30 7.6.30	90,750 102,850	点検 保守月1回 法定年1回	随契2号 (不適)
	小計		1,161,600	1,161,600	0	1,161,600				193,600		
4	可燃物収集運搬処分業務	環境のミカタ(株)	処分料 22円/kg 運搬料 5,720円/回	処分料 22円/kg 運搬料 5,720円/回	0	処分料 22円/kg 運搬料 5,720円/回	随契	7.4.8 ～ 8.3.31	7.5.30 7.6.30	73,018 40,106	原則 週1回	単価契約 島田工業高校 島田高校 島田商業高校 ふじのくに 国際高校
	小計									113,124		
5	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	(株)ハイナン	91,300	91,300	0	91,300	随契	7.6.20 ～ 7.10.31			混合廃棄物の収集・運搬・処分	随契1号 (少額)
	事務関係計	5件	13,825,064	10,566,600	0	10,657,900				504,724		
	合計	5件	13,825,064	10,566,600	0	10,657,900				504,724		
参考 1	消防用設備等保守点検業務	サンコー防災(株)	/	7,370,000	0	7,370,000	/	7.4.1 ～ 8.3.31	/	/	島田高校外4校 消防用設備等保守点検業務	島田高校
参考 2	浄化槽保守点検業務	ニッケン消毒(株)	/	1,540,000	0	1,540,000	/	7.4.1 ～ 8.3.31	/	/	島田商業高校外6校 浄化槽保守点検業務	島田商業高校
参考 3	自家用電気工作物保安管理業務	静岡ビル保善(株)	/	3,388,000	0	3,388,000	/	7.4.1 ～ 8.3.31	/	/	川根高校外4校 自家用電気工作物保守管理業務	川根高校
参考 4	水泳プール浄化装置保守点検業務	清化工業(株)	/	231,000	0	231,000	/	7.4.28 ～ 7.11.28	/	/	島田商業高校外4校 水泳プール浄化装置保守点検業務	島田商業高校
	合計	4件		12,529,000	0	12,529,000						

□ □ □ □ □

負担金支出調

(令和 6 年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	高等学校教育の研究	円 4,000	6 . 4 . 26
2	東日本建築教育研究会年会費	東日本建築教育研究会	東日本建築教育研究会会則	工業教育における建築教育に関する研究	6,500	6 . 5 . 2
3	東日本高等学校土木教育研究会会費	東日本高等学校土木教育研究会	東日本高等学校土木教育研究会会則・施行細則	工業教育における土木系教育に関する研究	6,000	6 . 5 . 15
4	東海四県土木教育研究会会費	東海四県土木教育研究会	東海四県土木教育研究会会則	工業教育における土木系教育に関する研究	3,000	6 . 5 . 15
5	東海地区電気教育研究会年会費	東海地区電気教育研究会	東海地区電気教育研究会会則	工業教育における電気教育に関する研究	4,000	6 . 5 . 31
6	東海地区建築教育研究会年会費	東海地区建築教育研究会	東海地区建築教育研究会会則	工業教育における建築教育に関する研究	4,000	6 . 6 . 6
7	第74回東日本建築教育研究会総会・研究協議会青森大会参加費	第74回東日本建築教育研究会総会・研究協議会青森大会実行委員会	開催通知	工業教育における建築教育に関する研究	4,000	6 . 6 . 12
8	東海地区工業高等学校長教育研究会総会・研究協議会参加費	東海地区工業高等学校長教育研究会	開催通知	工業高等学校教育の研究	2,000	6 . 6 . 14
9	東海地区機械教育研究会年会費	東海地区機械教育研究会	東海地区機械教育研究会会則	工業教育における機械教育に関する研究	4,000	6 . 7 . 11
10	低圧電気取扱者特別教育講習会受講料	(株)掛川自動車学校(掛川クレーン学校)	受講案内	講習会	15,000	6 . 7 . 19

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
11	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会静岡大会参加費	静岡県高等学校長協会生徒指導専門委員会	開催通知	高等学校の生徒指導に関する研究	円 2,000	6.7.26
12	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期3月×480人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	14,256,000	6.7.31
13	全国工業高等学校長協会第72回研究協議会参加費	公益社団法人全国工業高等学校長協会	開催通知	工業高校の教育に関する研究	6,000	6.8.8
14	全国情報技術教育研究会会費	全国情報技術教育研究会	全国情報技術教育研究会会則	工業教育における情報教育に関する研究	5,000	6.8.20
15	静岡県高等学校長協会家庭部会学校負担金	静岡県高等学校長協会家庭部会	静岡県高等学校長協会家庭部会規約	高等学校における家庭科教育に関する研究	2,000	6.9.19
16	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期1月×1人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当(退学者分)	9,900	6.9.25
17	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期5月×475人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	23,512,500	6.10.31
18	東海地区機械教育研究会第54回研究協議会参加費	東海地区機械教育研究会	開催通知	工業教育の一層の発展を目指すための研究協議	2,500	6.11.7
19	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期1月×1人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当(転学者分)	9,900	6.11.8
20	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期1月×1人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当(退学者分)	9,900	6.12.26

□ □ □ □ □

負担金支出調

(令和 6 年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
21	研削といし取替等業務特別教育講習会受講料	公益社団法人静岡県労働基準協会連合会	受講案内	講習会	円 17,100	7 . 1 . 10
22	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第 3 期 1 月 × 1 人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当 (転学者分)	9,900	7 . 1 . 15
23	粉じん作業者特別教育講習会受講料	一般社団法人建設不動産総合研修センター	受講案内	講習会	30,800	7 . 1 . 28
24	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第 3 期 4 月 × 472 人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	18,691,200	7 . 1 . 31
25	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第 3 期 2 月 × 1 人)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当 (追加認定者分)	19,800	7 . 3 . 12
	計	25件			56,617,200	

□ □ □ □ □

負担金支出調

(令和 7 年度)
(令和 7 年 6 月 30 日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国工業高等学校長協会第76回総会・研究協議会参加費	公益社団法人全国工業高等学校長協会	開催通知	高等学校教育の研究	円 5,000	7.4.24
2	東日本建築教育研究会年会費	東日本建築教育研究会	東日本建築教育研究会会則	工業教育における建築教育に関する研究	6,500	7.4.28
3	全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	高等学校教育の研究	4,000	7.4.28
4	東海四県土木教育研究会会費	東海四県土木教育研究会	東海四県土木教育研究会会則	工業教育における土木系教育に関する研究	3,000	7.5.23
5	東日本高等学校土木教育研究会会費	東日本高等学校土木教育研究会	東日本高等学校土木教育研究会会則・施行細則	工業教育における土木系教育に関する研究	6,000	7.5.27
6	東海地区建築教育研究会年会費	東海地区建築教育研究会	東海地区建築教育研究会会則	工業教育における建築教育に関する研究	4,000	7.5.29
7	東海地区電気教育研究会年会費	東海地区電気教育研究会	東海地区電気教育研究会会則	工業教育における電気教育に関する研究	4,000	7.5.29
8	機械研削といし取替業務特別教育講習会受講料	清水労働基準協会	受講案内	講習会	17,100	7.6.2
9	東海地区機械教育研究会総会・研修会参加費	東海地区機械教育研究会	開催通知	工業教育の一層の発展を目指すための研究協議	1,000	7.6.17
10	東海地区工業高等学校長研究会総会・研究協議会参加費	東海地区工業高等学校長教育研究会	開催通知	工業高等学校教育の研究	3,000	7.6.30
	計	10件			53,600	

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法
					当初額	変更増減額	計	
1	教育管理費	上水・井水送 水ポンプ更新 工事	島田市阿知ヶ谷 地内	4,202,000円	4,180,000円	0円	4,180,000円	指名
2	教育管理費	空調設備（A C - 1 系統） 修繕工事	島田市阿知ヶ谷 地内	352,000円	352,000円	0円	352,000円	随契
3	教育管理費	島田地区教職 員住宅ガス給 湯器更新工事	島田市岸町地内	2,398,000円	1,991,000円	0円	1,991,000円	随契
4	教育管理費	島田地区教職 員住宅給水ポ ンプ更新工事	島田市岸町地内	2,134,000円	2,134,000円	0円	2,134,000円	随契
5	教育管理費	島田地区教職 員住宅浄化槽 蓋更新工事	島田市岸町地内	528,000円	506,000円	0円	506,000円	随契
		合計	5 件	9,614,000円	9,163,000円		9,163,000円	

令和 7 年度執行なし

事 調

(令和 6 年度)

受注者	着手 完成 (予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有財 産台帳	摘要
朝日設備(株)	着手 6 . 1 . 22 完成 6 . 4 . 5	4,180,000円	ポンプ室内の上水・井水の送水 ポンプユニットの更新 上水ポンプユニット取替 一式 井水ポンプユニット取替 一式 機器入替に伴う関連配管工事 一式	済	令達 5 . 12 . 27 支払 6 . 4 . 30
朝日設備(株)	着手 6 . 9 . 4 完成 6 . 10 . 31	352,000円	A C - 1 系統室外機の部品交換 ファン電動機 2 個 ファン用シャフトカバー 2 個 プロペラファン 2 個 ファン電動機交換、カバー交換 一式 搬入及び撤去・処分 一式	—	随契 (少額 1 号) 令達 6 . 8 . 19 支払 6 . 11 . 26
東海ガス(株)	着手 7 . 1 . 15 完成 7 . 3 . 19	1,991,000円	世帯用既設撤去・処分・取付 ガス給湯器 8 台 リモコンセット 8 組 単身用既設撤去・処分・取付 ガス給湯器 8 台 台所リモコン 8 台	—	随契 (少額 1 号) 令達 6 . 12 . 23 支払 7 . 4 . 30
朝日設備(株)	着手 6 . 12 . 23 完成 7 . 3 . 6	2,134,000円	給水ポンプの更新 既設ポンプユニット撤去・搬 出・処分 一式 更新給水ポンプユニット搬入・ 据付、配管雑材・接合材・配管 保温工事 一式	—	随契 (少額 1 号) 令達 6 . 12 . 12 支払 7 . 4 . 22
(株)太田	着手 7 . 2 . 7 完成 7 . 3 . 26	506,000円	浄化槽蓋の更新 蓋・枠 制作 一式 既設解体撤去、嵩上げ 一式 新設蓋・枠設置、開口部養生 一式 撤去品運搬・処分 一式	—	随契 (少額 1 号) 令達 7 . 1 . 29 支払 7 . 4 . 18
		9,163,000円			

公 有 財 産 調

(令和 6 年度)

区分	令和 6 年 3 月 31 日現在		増		減		令和 7 年 3 月 31 日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 3,601,457		千円 11,494		千円 64,889		千円 3,548,062	
土 地	m ² 48,633.92	2,434,926	m ²		m ²		m ² 48,633.92	2,434,926	
立木竹	本 31	762	本		本		本 31	762	
建 物	m ² 建 9,471.66 延 17,882.00	1,072,835	m ²		m ²	55,624	m ² 建 9,471.66 延 17,882.00	1,017,211	価格改定
工作物	個 58	92,934	個 9	11,494	個	9,265	個 67	95,163	新設 登載漏れ 価格改定
普通財産		千円 178,343		千円 0		千円 6,282		千円 172,061	
土 地	m ² 1,385.82	65,919	m ²		m ²		m ² 1,385.82	65,919	
建 物	m ² 建 320.58 延 984.12	112,424	m ²		m ²	6,282	m ² 建 320.58 延 984.12	106,142	価格改定
工作物	個 4	0	個		個		個 4	0	
公有財産に 準ずるもの		183		0		0		183	
電 話 加入権	件 6	183	件		件		件 6	183	

「令和 7 年度中増減なし」

借地借家等調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	借料		契約 期間	所有者又 は契約者 氏 名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	河川 敷地	島田市阿知ヶ谷 201地先			m ² 31.18	円	円 無償	30.4.1 ～ 10.3.31	島田市長	橋梁
	計					m ² 31.18		円 0			
2	建物	事務 所建	島田市阿知ヶ谷 201			m ² 建 334.82 延 552.09	円	円 無償	7.4.1 ～ 8.3.31	(一社) 静 岡県立島田 工業高等学 校後援会長	生活館
3	建物	雑屋 建	島田市阿知ヶ谷 201			m ² 建 55.80 延 55.80	円	円 無償	7.4.1 ～ 8.3.31	(一社) 静 岡県立島田 工業高等学 校後援会長	渡り廊下
	計					m ² 建 390.62 延 607.89		円 0			
4	工作 物	雑工 作物	島田市阿知ヶ谷 201			個 1.00	円	円 無償	7.4.1 ～ 8.3.31	(一社) 静 岡県立島田 工業高等学 校後援会長	投球 練習場
5	工作 物	雑工 作物	島田市阿知ヶ谷 201			個 1.00	円	円 無償	7.4.1 ～ 8.3.31	(一社) 静 岡県立島田 工業高等学 校後援会長	弓道場
6	工作 物	冷暖 房装 置	島田市阿知ヶ谷 201			個 1.00	円	円 4,740,862	3.7.1 ～ 16.6.30	三井住友 ファイナ ンス&リース (株)	普通教室 空調設備
7	工作 物	冷暖 房装 置	島田市阿知ヶ谷 201			個 1.00	円	円 2,475,019	6.7.1 ～ 19.6.30	NTT・T Cリース(株) 静岡支店	特別教室 空調設備
	計					個 4.00		円 7,215,881			

□□□□□ - □

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和 6 年度)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約額の年度別内訳)					
				平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
長期継続契約	警備業務委託	島田工業・島田・島田商業・金谷（ふじのくに国際）4 校の機械警備 (契約日) 令和元年 9 月12日	円 4,620,000	462,000	円 924,000	円 924,000	円 924,000	円 924,000	円 462,000

(令和 7 年度)

(令和 7 年 6 月30日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約額の年度別内訳)					
				令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和11年度
長期継続契約	警備業務委託	島田工業・島田・島田商業・ふじのくに国際4 校の機械警備 (契約日) 令和 6 年 9 月18日	円 5,940,000	594,000	円 1,188,000	円 1,188,000	円 1,188,000	円 1,188,000	円 594,000

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者 の 氏 名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年 額			
1	土地	学校敷地	島田市阿知ヶ谷201番地	学校敷地	学校敷地	本 2	円 1,500	円 3,000	4.4.1 ～ 9.3.31	中部電力パワーグリッド(株)島田営業所配電グループ長	電柱1本 支線1条
2	土地	学校敷地	島田市阿知ヶ谷201番地	学校敷地	学校敷地	m ² 2.80		免除	5.4.1 ～ 10.3.31	島田市長	地域防災行政無線支局
3	建物	事務所建	島田市阿知ヶ谷201番地	R C 2 階	R C 2 階	m ² 1.00		免除	5.4.1 ～ 10.3.31	(一社)静岡県立島田工業高等学校後援会長	公衆電話
4	土地	学校敷地	島田市阿知ヶ谷201番地	学校敷地	学校敷地	m ² 5.47		免除	5.4.1 ～ 10.3.31	島田市長	非常用給水タンク
5	土地	学校敷地	島田市阿知ヶ谷201番地	学校敷地	学校敷地	m ² 0.37		免除	7.4.1 ～ 12.3.31	島田市長	道路反射鏡
6	土地	学校敷地	島田市阿知ヶ谷201番地	学校敷地	学校敷地	m ² 10.52		免除	5.4.1 ～ 10.3.31	島田市長	避難地用防災物資倉庫
7	建物	事務所建	島田市阿知ヶ谷201番地	R C 2 階	R C 2 階	m ² 0.09		免除	5.4.1 ～ 10.3.31	島田市長	デジタルMCA無線設備
8	土地	学校敷地	島田市阿知ヶ谷201番地	学校敷地	学校敷地	m ² 6.16		免除	7.4.1 ～ 10.3.31	静岡県立島田工業高等学校PTA会長	売店
9	建物	事務所建	島田市阿知ヶ谷201番地	S 2 階	S 2 階	m ² 10.19		免除	5.4.1 ～ 10.3.31	島田市長	避難地用防災物資倉庫
10	土地	学校敷地	島田市阿知ヶ谷201番地	学校敷地	学校敷地	m ² 6.00		628,000	7.4.1 ～ 10.3.31	コ・コーポラトーズジャパン(株)ベンディング関西中部営業本部ベンディング中部営業地区統括部ベンディング浜松支店長	自動販売機

行政財産貸付・使用許可調

(令和 7 年 6 月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者 の 氏 名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年 額			
11	建物	事務所建	島田市 阿知ヶ 谷201 番地	R C 2 階	R C 2 階	m ² 3.30		免除	6 . 4 . 1 ~ 9 . 3 . 31	静岡県立島田工 業高等学校 P T A 会長	P T A 職員 執務場所
12	建物	事務所建	島田市 阿知ヶ 谷201 番地	R C 2 階	R C 2 階	m ² 0.43		免除	5 . 4 . 1 ~ 10 . 3 . 31	島田市長	地域防災 無線
13	土地	学校敷地	島田市 阿知ヶ 谷201 番地	学校敷地	学校敷地	m ² 10.68		免除	5 . 4 . 1 ~ 10 . 3 . 31	島田市長	避難地用防 災物資倉庫
14	建物	倉庫建	島田市 阿知ヶ 谷201 番地	S 1 階	S 1 階	m ² 2.16		免除	4 . 11 . 1 ~ 9 . 3 . 31	岸町・阿知ヶ 谷・東光寺自治 会避難所運営会 議部長	災害時避難 所運営資材 保管倉庫
15	土地	学校敷地	島田市 阿知ヶ 谷201 番地	学校敷地	学校敷地	m ² 1.00		免除	6 . 4 . 1 ~ 9 . 3 . 31	静岡県立島田工 業高等学校 P T A 会長	P T A 職員 駐輪場所
合 計								円 631,000			

普通財産・借受財産等貸付調

(令和 7 年 6 月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者 の 氏 名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年 額			
1	土地	職員 住宅 敷地	島田市 岸町 673-1	宅地	宅地	本 2	円 1,500	円 3,000	7.4.1 ～ 10.3.31	中部電力パワー グリッド(株)島田 営業所配電グ ループ長	電柱 1 本 支線 1 条
2	土地	職員 住宅 敷地	島田市 岸町 673-1	宅地	宅地	m ² 0.25		1,500	7.4.1 ～ 10.3.31	西日本電信電話 (株)静岡支店長	光通信設備
3	建物	住宅 建	島田市 岸町 673-1	R C 4 階	R C 4 階	m ² 0.01		195	7.4.1 ～ 10.3.31	西日本電信電話 (株)静岡支店長	光通信設備
4	土地	職員 住宅 敷地	島田市 岸町 673-1	宅地	宅地	m ² 0.11		1,500	7.6.1 ～ 10.3.31	(株)T O K A I ケーブルネット ワーク	テレビ共聴 設備
5	建物	住宅 建	島田市 岸町 673-1	R C 4 階	R C 4 階	m ² 0.02		320	7.6.1 ～ 10.3.31	(株)T O K A I ケーブルネット ワーク	テレビ共聴 設備
合 計								円 6,515			

□ □ □ □ □

職員公舎管理状況調

(令和 7 年 6 月30日現在)

整理 番号	所在地	建築 年月	構造	管理戸(室) 数(A)	入居戸(室) 数(B)	Bの内他事 務所職員入 居戸(室)数	空屋戸(室) 数(A - B)	摘 要
1	島田市岸町 673-1	H8.3	非木造 (RC造4F)	16 戸	8 戸	8 戸	8 戸	県有 島田地区教職員住宅 (他事務所職員内訳) 科学技術高校 2 藤枝東高校 1 藤枝北高校 2 島田高校 1 ふじのくに国際高校 1 掛川工業高校 1 (空家期間) H26. 7 .29 ~ 1 R 5 . 4 . 3 ~ 1 R 5 . 8 . 1 ~ 1 R 6 . 3 .29 ~ 1 R 6 . 7 .14 ~ 1 R 6 . 8 .16 ~ 1 R 7 . 2 . 7 ~ 1 R 7 . 4 . 1 ~ 1
	計			16	8	8	8	

主 要 備 品 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利 用 状 況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	05-01	引張機器	万能試験機 たて型油圧負荷式	建築科2年授業 年間32時間	H7.3	29,664,000 円
2	06-02	金属加工工作機器	レーザー加工装置 MAZAK NEWTURBO-jr他	機械科3年授業 年間156時間	H12.3	28,332,780
3	02-01	その他の情報処理 機器	CAD / CAMシステム PC9821Xa13/K16他	機械科2・3年授業 年間165時間	H8.2	25,122,610
4	02-01	パーソナルコン ピュータ(1式)	情報応用実習装置 パーソナルコンピュータ	情報電子科3年授業 年間725時間	H29.12	23,220,000
5	05-03	電気試験計測機器	電力技術総合実習装置 模擬送電実習装置	電気科3年授業 年間78時間	H13.3	20,769,000
6	05-06	その他の環境化学 機器	環境実験装置 環境測定機器 他	建築科3年授業 年間8時間	H12.3	18,480,000
7	05-01	強度試験・計測機 器	土質実験装置 J I S 型置換装置他	都市工学科3年授業 年間58時間	H12.3	18,425,400
8	05-99	試験実験機器	自動制御実習装置 89-RP-059 J 他	機械科3年授業 年間78時間	H4.11	14,832,000
9	06-02	金属加工工作機器	金属加工工作機器 CAD/CAMシステム	機械科3年授業 年間78時間	H28.2	14,728,554
10	05-06	騒音化学機器	騒音振動測定装置 騒音計、振動計他	都市工学科3年授業 年間58時間	H11.1	14,665,350
11	05-03	電気試験計測機器	高電圧実習装置 直流、交流、インパルス	電気科3年授業 年間60時間	H9.3	14,626,000
12	05-03	その他の電気 試験計測機器	光通信実習装置	機械科2・3年授業 年間247時間	H5.10	13,905,000
13	02-01	パーソナルコン ピュータ(一式)	自動設計製図装置	全科2・3学年授業 年間650時間	H26.3	13,837,950
14	02-01	パーソナルコン ピュータ(一式)	自動工作シミュレーションシステム 学校ICT環境整備事業	機械科3年授業 年間390時間	H22.3	13,799,100
15	02-01	パーソナルコン ピュータ(一式)	情報総合装置 学校ICT環境整備事業	建築科1・3年授業 年間110時間	H22.3	13,587,000
16	05-07	水平度測量機器	基準点測量用GPS測位シ ステム	都市工学科2・3年授業 年間145時間	H6.12	13,574,100
17	06-02	金属加工工作機器	放電加工機 ROBO CUT	機械科3年授業 年間78時間	H30.2	12,830,400
18	06-02	金属加工工作機器	放電加工機 産振08機械36	機械科3年授業 年間156時間	H5.10	12,257,000
19	05-07	その他の測量機器	電子平板測量システム	都市工学科3学年授業 年間58時間	H13.12	12,119,100
20	06-02	金属加工工作機器	数値制御工作機 マシニングセンター	機械科2・3学年授業 年間165時間	S63.3	12,000,000

□□□□□

職 員 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校長	飯田龍太郎		□□□	□.□	□□□
2	副校長	鈴木 孝志		□□□	□.□	□□□ □□□(□□)□.□.□ □□□
3	教頭	竹下 晋	数学	□□□	□.□	□□□
4	事務長	鈴木 訓生		□□□	□.□	□□□ □.□.□ □□□□□□
5	教諭	岡本 美穂	国語	□□□	□.□	□□□
6	教諭	小林 浩章	国語	□□□	□.□	□□□
7	教諭	樽松由美子	国語	□□□	□.□	□□□
8	教諭	山田 重治	地歴・公民	□□□	□.□	□□□
9	教諭	松永いずみ	地歴・公民	□□□	□.□	□□□
10	教諭	高橋真佐世	数学	□□□	□.□	□□□
11	教諭	深沢 由美	数学	□□□	□.□	□□□
12	教諭	永島 俊介	数学	□□□	□.□	□□□
13	教諭	大森 康之	数学	□□□	□.□	□□□
14	教諭	塚原 健将	理科	□□□	□.□	□□□
15	教諭	西川 徹	理科	□□□	□.□	□□□ □□□
16	教諭	伊藤 聡	理科	□□□	□.□	□□□
17	教諭	立浪 雄樹	保健体育	□□□	□.□	□□□
18	教諭	鈴木 康正	保健体育	□□□	□.□	□□□
19	教諭	川口 敬則	保健体育	□□□	□.□	□□□
20	教諭	中村 匠	保健体育	□□□	□.□	□□□
21	教諭	佐野 義光	外国語（英語）	□□□	□.□	□□□ □□□
22	教諭	松永さゆり	外国語（英語）	□□□	□.□	□□□
23	教諭	松村恵美子	外国語（英語）	□□□	□.□	□□□
24	教諭	池ヶ谷妙子	外国語（英語）	□□□	□.□	□□□ □□□
25	教諭	松永 好己	音楽	□□□	□.□	□□□ □□□・□□□□□ □.□.□～

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
26	教諭	松原 健	工業（機械）	□□□	□.□	□□□ □□□
27	教諭	植松 千門	工業（機械）	□□□	□.□	□□□ □□□
28	教諭	小澤 卓朗	工業（機械）	□□□	□.□	□□□
29	教諭	海野 覚	工業（機械）	□□□	□.□	□□□
30	主任 実習助手	田平 文章	工業（機械）	□□□	□.□	
31	実習助手	黒川 優里	工業（機械）	□□□	□.□	
32	教諭	磯部 仁志	工業（電気）	□□□	□.□	□□□
33	教諭	佐藤 芳明	工業（電気）	□□□	□.□	□□□ □□□
34	教諭	新美 政紀	工業（電気）	□□□	□.□	□□□
35	教諭	大石 豊彦	工業（電気）	□□□	□.□	□□□ □□□
36	教諭	永田 久	工業（電気）	□□□	□.□	□□□ □□□
37	実習助手	山田 宗椰	工業（電気）	□□□	□.□	
38	教諭	大村 整	工業（情報電子）	□□□	□.□	□□□
39	教諭	木田 昌孝	工業（情報電子）	□□□	□.□	□□□ □□□
40	教諭	村松 広貴	工業（情報電子）	□□□	□.□	□□□
41	教諭	進士 竜矢	工業（情報電子）	□□□	□.□	□□□
42	教諭	山本 陽介	工業（情報電子）	□□□	□.□	□□□
43	教諭	中山 鴻志	工業（情報電子）	□□□	□.□	□□□
44	教諭	高山 隆志	工業（建築）	□□□	□.□	□□□
45	教諭	田畑 剛	工業（建築）	□□□	□.□	□□□
46	教諭	坂本 真生	工業（建築）	□□□	□.□	□□□
47	教諭	中村 尚武	工業（建築）	□□□	□.□	□□□
48	教諭	滝口 諒	工業（建築）	□□□	□.□	□□□
49	教諭	梅尾 樹	工業（建築）	□□□	□.□	□□□
50	教諭	下村 陽	工業（都市工学）	□□□	□.□	□□□
51	教諭	杉浦 通之	工業（都市工学）	□□□	□.□	□□□
52	教諭	川口 昌弘	工業（都市工学）	□□□	□.□	□□□

整理番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
53	教諭	大倉 祥平	工業（都市工学）	□□□	□.□	□□□
54	教諭	林 優弥	工業（都市工学）	□□□	□.□	□□□
55	教諭	平澤 大輔	工業（都市工学）	□□□	□.□	□□□
56	主任 実習助手	平田 正幸	工業（都市工学）	□□□	□.□	□□□
57	養護教諭	薮崎佳奈美	養護	□□□	□.□	□□□
58	主査	大石由美子	事務	□□□	□.□	□□□□□□ □.□.□
59	主任	大石 倫子	事務	□□□	□.□	□□□□□□ □.□.□
60	主任	増田 倫也	事務	□□□	□.□	□□□□□□ □.□.□
61	主任	福田 昌秀	事務	□□□	□.□	□□□□□□ □.□.□ □□□
平均年数					□.□	

臨時・会計年度任用職員

(令和7年6月30日現在)

整理番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭 (臨)	小関 秀俊	工業（機械）	□□□	□.□	□□□
2	教諭 (臨)	山内 一穂	工業（電気）	□□□	□.□	□□□
3	実習助手 (任)	杉山 貴啓	工業（情報電子）	□□□	□.□	
4	特別教諭	前島 孝通	工業（機械）	□□□	□.□	
5	非常勤 講師	永田 一美	保健体育	□□□	□.□	□□□
6	非常勤 講師	大石 暁美	家庭	□□□	□.□	□□□
7	非常勤 講師	青島 伸介	工業（機械）	□□□	□.□	□□□
8	非常勤 講師	小川 晃	工業（電気・情報 電子）	□□□	□.□	□□□
9	非常勤 講師	太田 正弘	工業（建築）	□□□	□.□	□□□
10	非常勤 労務職員	増田 和泰	特別支援教育介助 員	□□□	□.□	
11	非常勤 労務職員	河村あけみ	環境整備	□□□	□.□	
12	非常勤 労務職員	松浦富士男	環境整備	□□□	□.□	
13	非常勤 嘱託員	桐井 奈央	事務	□□□	□.□	
14	非常勤 嘱託員	駒形 広乃	就学支援金	□□□	□.□	

職員の年齢調

(令和7年6月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	4	
30歳以上40歳未満	14	
40歳以上50歳未満	15	
50歳以上56歳未満	8	
56歳以上61歳未満	8	
61歳以上	12	再任用職員11人
計	61	平均年齢 48歳 6月

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 61人 職員数 61人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

該当なし

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0 人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	0 人
B 2		要経過観察	0 人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	0 人
C 2		要経過観察	0 人
D 1	平常の勤務でよい。	要治療	17 人 (17)人
D 2		要経過観察	30 人 (30)人
D 3		医療不要	13 人 (13)人
区 分 者 計			60 人 (60)人
未区分者数			1 人
合 計			61 人

(1) 管理区分 A ~ C 2 該当者
に対する措置状況
該当なし

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 0 人
イ 新規採用 1 人
ウ 自己都合による未受診 0 人
エ その他
() 0 人